

ICTを活用、キャリア発達促す

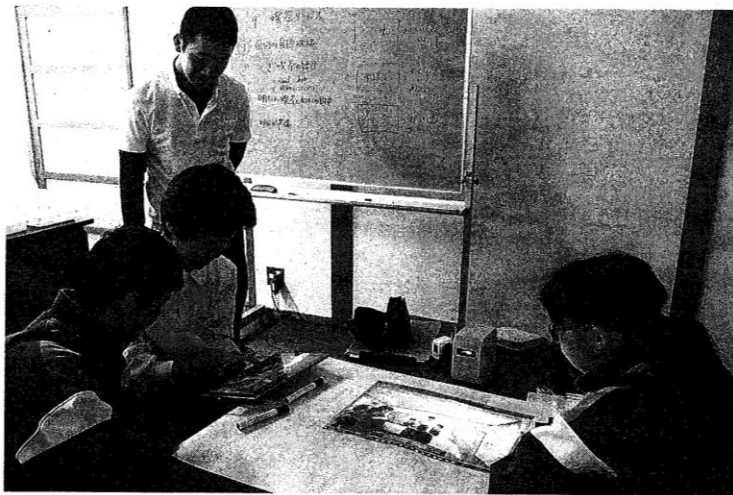
卒業後の自立までを見据え、生徒のキャリア発達を促す支援アプリの開発と授業実践による効果検証に取り組む岐阜県立郡上特別支援学校高等部（山内明志校長、生徒20人。岐阜県情報技術研究所による支援・協力の下、文字情報だけでなく絵を加えることで会計作業がスムーズにできるようにした「レジアプリ」など、全5種類のアプリを開発した。ICTを活用することで、生徒たちの学ぶ意欲の向上にもつながっているという。

岐阜県立郡上特別支援学校高等部

「いらっしゃいませ。何名様ですか。こちらへどうぞ…」と。店員役と客役に分かれ、喫茶店の模擬営業を行う生徒たち。社会的自立に必要な事柄を総合的に学ぶ「作業学習」の一つだ。この授業は、地域にある「道の駅」で喫茶営業（月1回実施）を行うための事前学習に当たる。温泉を自当に県内外の多くの人が訪れるため、生徒たちの表情も真剣そのもの。客役の生徒たちが、手に持っているのはタブ

作業学習での支援アプリ開発

喫茶店の模擬営業を行い、Webカメラで撮影した自らの活動している姿から良い点や課題などを振り返った



レット端末。その画面には「いいね！」「注目！」「チェック」の3項目が表示されている。店員役の生徒の身動きや言動などを評価し、良い姿や改善すべき点などに気付いたらタップするための。接客の様子はWebカメラで録画。誰がどの項目にタップしたかを含め、その時間も一緒に記

課題解決型の授業モデル構築へ

スに関わる作業学習を中心に開発したアプリを活用した授業づくりに取り組んでいる。まずは「接客支援アプリ」（Google Playストアで一般公開）を使い、よりスムーズに接客やレジができるシステム、ソフトウェアの開発や改良などを行ってきた。さらには「事前学習、喫茶営業、事後学習」の一連の課題解決的な学習展開を一つのパッケージとして捉え、「キャリア発達を促す喫茶サービスの授業モデル」も構築した。

このうち「事前学習」では、接客に関わる自らの課題を再確認するツールとしてバーチャルリアリティシステム（VR）を導入。VRの臨場感によって、学習への興味・関心をさらに高めることができたという。

コミュニケーション力向上
こうした取り組みの背景には、卒業後の生徒たちの状況や課題などがある。仕事内容のミスマッチではない。コミュニケーション力の不足から困難な状況を乗り越えられず、人間関係でつまづき



文字情報だけでなく絵を加えたことで、作業効率の改善を図ったレジアプリの一例

ことなどが多かったため

「事前学習、喫茶営業、事後学習」の一連の課題解決的な学習展開を一つのパッケージとして捉え、「キャリア発達を促す喫茶サービスの授業モデル」も構築した。

このうち「事前学習」では、接客に関わる自らの課題を再確認するツールとしてバーチャルリアリティシステム（VR）を導入。VRの臨場感によって、学習への興味・関心をさらに高めることができたという。

コミュニケーション力向上
こうした取り組みの背景には、卒業後の生徒たちの状況や課題などがある。仕事内容のミスマッチではない。コミュニケーション力の不足から困難な状況を乗り越えられず、人間関係でつまづき

「特別研究指定校」として研究を進めている。来年3月2日には、「道の駅」での喫茶営業の公開授業を含め、研究発表会を行う。

郡上特別支援学校高等部 00575・63・0020

「レジアプリ」はあらゆる販売活動で使うことができ、在庫確認を行う「受払管理アプリ」は製品一つ一つをバーコードで管理しているため使いやすいという声も多い。

昨年度、（公財）パナソニック教育財団の一般研究助成校として研究を進めてきた。本年度は研究内容などが評価され、「特別研究指定校」として研究を進めている。来年3月2日には、「道の駅」での喫茶営業の公開授業を含め、研究発表会を行う。

郡上特別支援学校高等部 00575・63・0020